

善行保育園・善行乳児保育園再整備事業に係る検討経過等について

1 これまでの経過

善行保育園・善行乳児保育園再整備事業（以下、「保育園再整備」という。）につきましては、善行市民センター等再整備事業（以下、「市民センター再整備」という。）とあわせて、2015年（平成27年）6月から検討が始まり、「善行市民センター・公民館建設検討委員会」及び住民説明会を実施する中で、ご意見をいただいていたところです。

2016年（平成28年）3月に「善行市民センター等再整備基本構想」（以下、「基本構想」という。）で配置案を提示させていただいたものの、測量等を行っておらず、具体的な計画内容については、ご説明ができていない状況でありました。

その後、公立保育所を含む公共施設の再整備について、優先順位の再検討をした結果、保育園再整備については事業が延期となり、市民センター再整備とは別途検討する形となりました。さらに延期後のスケジュールが市民センター（健康プラザ）の建設工事及び周辺道路工事と同時期となることから、近隣住民の方々への生活環境への影響を考慮した結果、再延期となっております。

この度、改めて事業を進めるにあたり、「公募型プロポーザル方式」により、再整備事業者を選考し、計画について検討させていただくものです。

2 基本構想配置案からの変更

基本構想配置案と現在の配置案は別紙のとおりです。

基本構想時は西側にかぎ型で園舎を配置しておりましたが、次の理由から配置を変更いたしました。

- (1) 調理室（地下スペース）の配置変更
- (2) 園庭を中庭型として計画

建物規模につきましては、基本構想時に1,900～2,100㎡として計画しており、現在の計画が2,100㎡弱であることから、建物規模による変更ではございません。

3 全体スケジュールについて

令和5年11月にお示しした保育園再整備のスケジュールについて、市民センター再整備と比較して、急ぎすぎているのではないかとのご意見をいただきました。

市民センター・公民館は、地域住民をはじめ、地域団体・サークルなど多くの方々が利用・活動される地域の拠点施設であることから、多方面からの意見を集約する必要があるため、保育園再整備とのスケジュールとは単純に比較ができないものと考えております。

なお、直近の保育園の再整備については、次に記載の予定で実施しています。

(1) 善行保育園・善行乳児保育園

設計協議期間	約12カ月
建設工事期間	約16カ月
計	約28カ月

(2) 鶴沼保育園

設計協議期間	約13カ月（当初予定12カ月）
建設工事期間	約16カ月
計	約29カ月

(3) 法人立保育所

設計協議期間	約7カ月
建設工事期間	約9カ月
計	約16カ月

※いずれも比較のために、埋蔵文化財調査や解体工事期間等を除いているため、実際の事業計画期間とは異なります。なお、建設工事期間については、建物規模や立地、工法等により異なるため、あくまで参考の数値として記載しております。

今後のスケジュール（予定）は以下の通りです。

2023年（令和5年）12月	意見交換会
2024年（令和6年）1月	住民説明会
	埋蔵文化財調査
2024年（令和6年）度中	調査後、工事着工
2025年（令和7年）度中	新園舎完成
	新園舎へ移転、新園舎での保育開始

4 いただいたご意見

「善行市民センター・公民館建設検討委員会」及び住民説明会（2023年11月に実施したものを含む）において、様々なご意見をいただいております。その中で配置計画に関わる内容は次のとおりと捉えております。

- (1) 樹木の取り扱い
- (2) 調理室の配置
- (3) 駐車場の確保・路上駐車への不安
- (4) 近隣への日照の確保（北側園庭）
- (5) 子どもの声（騒音）
- (6) 建物による圧迫感

5 ご意見に対する市の考え

「4 いただいたご意見」を踏まえまして、検討した結果及び市の考えについては、次のとおりです。

(1) 樹木の取り扱い

敷地内の樹木については、残置についてのご意見もいただきましたが、園舎、園庭、駐車・駐輪場スペースの配置計画を検討した中で、樹木を残置した場合には必要とする規模の計画が成り立たないと判断したため、伐採させていただきたいと考えております。

保育園の植栽計画については、害虫のつきやすいものや実のなるものを避けつつ、四季折々の花や葉の色付きを楽しむことができるよう、様々な樹種をバランスよく配置するよう検討いたします。

(2) 調理室の配置

基本構想の中で調理室は地下スペースとしておりましたが、「園児が調理風景を見ることも匂いがかぐこともできない」というご意見をいただいております。食育という観点からも調理風景を見ることで食に対する興味や理解を深めることは大変重要であると考え、現在は1階に配置するよう計画しております。

(3) 駐車場の確保・路上駐車への不安

善行市民センター・公民館の利用者と保育園の送迎時間のピークが重ならないことから、善行市民センター・公民館の駐車場を共用するという方針に変更はございません。しかしながら、基本構想では保育園敷地内での駐車スペースは3台となっており、実際には公用車、障がい者用で2台分を想定しておりましたので、ほとんど保護者の方が利用できるスペースはございませんでした。基本構想で

お示しする以前から駐車場利用者の利便性・安全性についてのご意見をいただいておりますため、現在の計画では公用車、障がい者用を除き、4台の駐車スペースを確保しております。

(4)～(6)については、切り離して検討することができないため、合わせて市の考えをご説明いたします。

保育園再整備について、日照について強いご要望をいただいていることは承知しております。しかしながら、子どもの声についてのご意見もいただいていることから、音についての配慮も必要であると考えております。そのため、周囲への音の飛散防止のため中庭型の園庭を計画しております。

さらに乳児保育室については、非常時の避難経路確保の観点から園庭に面して配置したいと考えております。乳児の避難の際は大型のバギーを使用する想定ですが、ご要望いただいている北側に園庭を配置する計画では、北側道路とは高低差があり、避難経路としては使用できないため、東側もしくは西側を経由して大回りで南側に避難することになり、スムーズな避難ができないと考えております。以上のことから、園児の安全も考慮した結果、現在お示ししている配置案で計画させていただきたいと考えております。

建物による圧迫感については開口部、植栽を適切に設けるなど、施工による工夫で軽減したいと考えております。

6 前回の説明会からの改善点

北側敷地境界から、さらに1mセットバックして計画いたします。これにより、日照については別紙「日照シミュレーション」のとおりとなります。

保育園北側のパース(イメージ図)についてもご要望いただきましたが、本日までに作成が間に合っておりません。作成次第お示しいたします。

今回の再整備では建物の目標保全年数を50年としており、50年間運営することで1,500～2,000人程度の乳幼児の成長を支える施設となります。安全・安心な施設建設のため、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上

藤沢市役所 子ども青少年部 子育て企画課